

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-01-026
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人 筑紫野市内の企業等			<ul style="list-style-type: none"> ・広報業務として、市ホームページの掲載内容の確認、SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE、Instagram、Youtube）の運用、市民便利帳の発行の他、マスコミ等にイベント等の情報を提供しています。 ・広聴業務は、移動市長室、市政への提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めています。 						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
行政情報の積極的な提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
マスコミ等への情報提供件数		件	64	88	70	100			404
市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数		件	249	2,853	20,000	20,000			80,000
5. コスト									
事業費		計	千円	642	949	2,190	766		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	52	52		
一般	千円	642	949	2,138	714				
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.4				
正職員人件費		千円	11,089	10,819	10,941				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	11,731	11,768	13,131	766			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ等への情報提供件数は、市制50周年事業の周知もあり、例年よりも増加 ・ホームページのアクセス件数は、おおむね順調に推移しているものの、当初目標には到達せず。令和5年度以降に向けて、新たな取り組みの検討が必要 ・広聴事業としては、R4年度中に市政への提案を14件受付、移動市長室を4回実施している。 							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度から「市政への提案」事業を本事業に編入し、広報・広聴を一体とするように取り組みを進めています。 ・市制施行50周年記念事業としてInstagramを開始。他の情報媒体とは別に魅力発信という面で情報発信を行っています。 ・移動市長室、市政への提案とともに開始から10年が経過しており、制度の見直しが必要 				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性									
維持									
見直し									
廃止									
事業終了									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上の魅力発信（シティプロモーション）ページの作成を外部委託するよう検討 ・移動市長室、市政への提案とともに開始から10年が経過していることから、制度の見直しを検討 									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
<ul style="list-style-type: none"> ・Facebook、X、LINEは順調に推移。YouTubeは伸び悩み ・令和4年2月から新たにInstagramの運用を開始 ・令和4年3月から新たに魅力発信に関するページを立ち上げ ・移動市長室、市政への提案とともに開始から10年が経過しており、制度の見直しが必要 					備考・特記事項 or 進行管理欄				
<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度から移動市長室、市政への提案開始 ・H26年度から市公式Facebook・X(旧Twitter)開始 ・H27年度から市公式Youtube開始 ・R2年度から市公式LINE開始 ・R3年度から市ホームページをリニューアル、市公式Instagram開始 									